

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第1年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	ENEOS株式会社		
事業所の名称	ENEOS株式会社 仙台製油所		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港5-1-1		
主たる事業	石油製品・石炭製品製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>第1次中期環境経営計画(2017-2019)に引き続き、第2次中期環境経営計画(2020-2022)を新たに策定、その重点テーマの一つを「低炭素社会への貢献」とし、「事業活動における省エネルギー対策の推進」を具体策として掲げ、諸施策を推進している。</p> <p>仙台製油所では『環境負荷の低減』を事業計画として策定し、①廃棄物の分別回収の徹底および再資源化の更なる推進(廃棄物処理先の複線化推進) ②PCB、フロン含有設備の管理徹底、プラント照明設備のLED化推進を継続 ③廃棄物の発生量削減の検討と実行を推進している。</p> <p>また国際競争力強化の一環として、省エネ活動の体制見直しによる省エネ推進を事業計画に定めている。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	963,753 t-CO ₂	基準原単位	15
	目標年度	2022 年度	目標排出量	934,840 t-CO ₂	目標原単位	14.55
			削減率	3.00 %	削減率	3.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	808,203 t-CO ₂	排出原単位	18.08
			削減率	16.14 %	削減率	-20.54 %
	排出量等の増減理由	第1年度(2020年度)においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市況悪化や2月、3月に発生した福島沖、ならびに宮城県沖地震による二度の全装置停止を経験したことから、予算対比の生産数量が減少し、かつ装置稼働維持に伴う省エネルギー運転の志向ができなかったため。				
	第2年度	2021 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
	排出量等の増減理由					
	第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
削減率			%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	93 %	目標年度	100 %
	第1年度	93 %	実施状況の説明等	(24号)高効率照明器具の導入に関して:所内にある工場二か所の照明について、全数水銀灯からLEDに変更した。第2年度でも、協力会社棟や動力エリアでもLEDへ変更すべく取り組みをしている。
	第2年度	%	実施状況の説明等	
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外部機関による省エネ診断		一部実施済
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	変圧器の負荷率管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	負荷平準化		実施済
	再生可能エネルギーの導入		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体の取り組み内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	当製油所は、意図した成果を達成するために、当製油所の状況(外部・内部の課題、利害関係者のニーズや期待等)を考慮し、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルを確立することにより、継続的な改善を目指す。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	廃アルカリ処理による廃棄物払い出し量の削減 凝集剤変更に伴う排水汚泥の発生量削減	未実施
	森林の保全・緑化の推進	年に3回、植栽や伐採など森林保全活動を実施	実施済
	グリーン調達の実施	「グリーン調達推進要領」に基づき、グリーン購入推進に資することを目的として、「グリーン購入に関する購買指針」を定めている。 また、毎年グリーン購入の周知教育を行っている。	実施済
計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	2015年度～2019年度にかけて省エネを目的とした改善工事を実施。約38,000 t-CO ₂ /年の温室効果ガスを削減した。	実施済	